

### 第3期岩倉市地域福祉計画 令和6年度進捗評価シート

基本目標	1 市民の参画による支え合いの地域(まち)づくり
施策	(3) 地域福祉に関わる団体活動等の活性化

#### <現状と課題>

<p>・本市には、住民による地域自治のための地縁組織として「行政区」があります。行政区では防災・防犯活動や環境美化活動、そして祭りや子ども会・老人クラブ等のコミュニティ活動を推進しており、市民の生活を支える重要な組織となっています。</p> <p>・また、岩倉市社会福祉協議会が中心となって組織する「支会」は、市内を7つの小地域に区分して活動しています。支会ごとにサロンや茶話会、交流会などを開催しており、地域福祉活動の中心的な推進組織として位置づけられています。</p> <p>・地域ぐるみで子どもを育てていくためには、学校の役割も重要です。アンケート調査では、中学生以下の子どもに対する関わりとして、「①あいさつする」割合が70.2%、「②ほめたり、注意をしたりする」割合が38.3%、「③一緒に行動する」割合が23.6%となっています。地区懇談会においても、子どもを含めた地域活動や保護者世代への働きかけが大切であるとの意見が多く出ています。</p> <p>・地域には様々な地縁組織、活動団体等の社会資源があります。それぞれの目的に沿った活動を活性化させることが重要である一方、団体同士の交流や意見交換、活動の連携によるさらなる発展も期待されます。</p>
---

#### 単位施策:08 地域福祉活動の活性化

・市民に身近な範囲で活動する助け合い・支え合い活動が活性化するよう、行政区や支会、各種福祉団体の活動を促進します。また、各地域にある区公会堂等の施設を地域福祉推進のために有効活用できるよう支援します。

成果指標	現状値	実績値						目標値	実績値に対する分析	担当
	R3	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11		
支会活動の事業数	52	53	49					現状維持	地域の実情に合わせた支会活動が実施された。	社会福祉協議会

事業	取組内容及び成果	課題及び今後の方向性
●行政区への加入促進	協働安全課 区長会及びホームページにおいて、加入促進チラシ及び行政区運営の手引きを案内し、各行政区への加入促進に係る支援を行った。	市民に対し、行政区に加入する意義を呼びかける。
●区公会堂の修繕補助金等	協働安全課 公会堂建設費等補助金の交付並びに学習等共同利用施設及び地域集会所の修繕の実施により、地域の活動拠点の維持管理を支援した。	引き続き、地域活動の拠点となる公会堂等の維持管理の支援として、修繕等に係る補助等を行い、行政区を支援する。
●区育成補助金等	協働安全課 区の運営や区民の親睦を図る事業等の実施に必要な経費に対し補助金を交付し、行政区の支援を図ることができた。	引き続き、行政区の運営支援として補助を行い支援する。
●支会活動	社会福祉協議会 各支会において、地域の実情にあわせ、多世代交流や高齢者のためのサロン活	それぞれの地域において、どんな課題があるのか等、地域分析をした

		動、子どもの見守り活動などの事業を実施した。	うえで必要な事業を検討することが必要。
●各種福祉団体等への支援(助成等)	福祉課、社会福祉協議会	<p>保護司会、更正保護女性会等市内の社会福祉関係団体7団体へ社会福祉関係団体助成補助金を交付し、団体活動の支援をした。</p> <p>その他各担当課から関連する社会福祉関係団体へ補助金を交付した。</p> <p>老人クラブ連合会やボランティア連絡協議会など12の社会福祉関係団体へ補助金を交付し、活動を支援した。</p>	<p>引き続き、社会福祉関係団体助成補助金を交付し、団体活動支援を行う。</p> <p>助成に加え、団体間の連携等について地域つながりづくり会議等にて検討する。</p>
●その他		<p>令和4年度から継続して実施している地域力活性化支援事業について、これまでの「未来寄合」を踏まえ、令和6年度は次のステップに向けた交流やつながりづくりを目的とした「未来寄合NEXTカフェ」を開催した。また、地域づくりをより深く考えていくため、モデル地域として岩倉北小学校区を選定し、その学校区でアンケート調査の実施し、地域の新たな組織や仕組みのあり方について対話することを目的とした「未来寄合トライアル」を3回開催した。「未来寄合トライアル」では、対話をすることで何から始めていけば良いかトライアル活動について意見交換し、住民の地域自治に対する主体性を高め、住民自らが地域課題の解決を図るという機運の醸成に寄与することができた。</p>	<p>令和7年度について、引き続きモデル地区でワークショップを継続して開催し、参加者にトライアル活動に取り組むことにより、地域づくりに向けた新たな組織や仕組みづくりの検討につなげていく。また、モデル地区での取り組み状況の共有を図るため、市全域を対象とするフォーラムを開催する。地域の諸課題に取り組むため、庁内関係課を対象とした講義及びワークショップを開催する。</p>

**単位施策:09 学校と連携した地域づくりの促進**

・学校と家庭、地域とが連携し一体となって児童生徒の健やかな成長を図るために、学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール)の導入に向けて検討を進めます。

成果指標	現状値	実績値						目標値	実績値に対する分析	担当
	R3	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11		
学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール)の導入	未導入	未導入	一部導入					導入	<p>【岩倉中学校区】</p> <p>R5 準備委員会設置</p> <p>R6 学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール)の導入</p> <p>【南部中学校区】</p> <p>R6 準備委員会設置</p> <p>R7 学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール)の</p>	学校教育課

									導入	
--	--	--	--	--	--	--	--	--	----	--

事業		取組内容及び成果	課題及び今後の方向性
●学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール)の導入	学校教育課	<p>岩倉中学校区の各小中学校(北小、南小、五小、岩中)では、学校運営協議会を定期的に行き、校長が作成する学校運営の基本方針を承認したり、学校運営について校長に意見を言うなど協議する場として開催した。また、地域住民等の参画を得て、放課後等における学習支援や体験活動、授業補助、校内清掃、登校対応、部活動補助などを実施するのに加えて、地域の防災活動やお祭り等地域の伝統行事への参画など地域を活性化する活動など協議して行った。</p> <p>南部中学校区の各小中学校(東小、曾野小、南部中)においては、コミュニティ・スクールの導入に向けた準備委員会を設置し、学習会や役割分担、実働組織の検討など、コミュニティ・スクールアドバイザーの支援を受けながら開催した。</p>	<p>市内全ての小中学校に導入されたコミュニティ・スクールでは、学校運営協議会を定期的に行き、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくための話し合いを行っていきとともに、様々な学校活動や地域活動を協働して取り組んでいく。</p> <p>また、新たに南部中学校区を含めた市内小中学校全校に地域連携コーディネーターを配置し、地域人材の発掘に努めるとともに、地域学校協働活動の運営に取り組んでいく。</p>
●その他			

**単位施策:10 地域づくり支援・参加支援**

・様々な地域単位で「地域つながりづくり会議」を開催し、活動者同士の情報交換を通じて地域福祉の意識づくり、人材育成、団体活動の活性化を図ります。段階的に、地域ケア会議等の他の会議体や組織等とも連携しながら、住民主体の地域福祉活動を促進するためのプラットフォームとしての機能を強化していきます。

成果指標	現状値	実績値						目標値	実績値に対する分析	担当
	R3	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11		
「地域つながりづくり会議」参加団体数	-	0	0					13団体	地域アセスメントのため人口や社会資源の情報を整理した。令和6年度は地域つながり会議講演会を実施し、62人の参加があり、地域つながりづくり会議の実施に向けた準備を行った。	社会福祉協議会 福祉課

事業		取組内容及び成果	課題及び今後の方向性
●「地域つながりづくり会議」の開催	福祉課・社会福祉協議会	<p>基本目標3包括的な支援に向けた体制づくり (3) 重層的支援体制の整備に向けた検討 単位施策28参加支援に関する方向性、単位施策29地域づくりに関する方向性で記載</p>	
●その他			

事務局評価	取組 2	指標 Ⅱ	評価 B	評価理由	地域つながりづくり会議の実施に向けて講演会などを開催したり、未来寄合を中心とした行政区の負担軽減に関する検討など、持続可能な地域活動の支援が行われている。また、学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）が岩倉中学校区で開始され、南部中学校区での令和7年度からの実施につながっている。
推進委員評価	B			推進委員評価 判断理由・コメント	地域つながりづくり会議はまだ実施されていないが、実施に向けた準備が進められている。地域の実状に応じた支会活動やその支援が継続的に行われている点や学校運営協議会制度が一部導入された点は評価できるため、引き続き進めていただきたい。